

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年7月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設淡水化装置(RO3-2)の重亜硫酸タンク液位検出器の不具合について】 当社運転員が、既設淡水化装置(RO3-2)の作業終了に伴う制御盤電源の復旧時に、制御盤内の重亜硫酸※タンク液位の低下を検出するリレーの不具合を確認。 当該リレーを交換しても不具合は改善されなかったことから、重亜硫酸タンク液位検出器の不具合であると推定。 淡水化装置は建屋内淡水化装置が運転中であり、既設淡水化装置(RO3-1. 3)が待機中であることから、淡水化処理機能に影響なし。 今後、当該液位検出器の点検修理を実施予定。</p> <p>※重亜硫酸:還元剤(塩素の除去に使用)</p>	G III	6月29日
2	<p>【1号機原子炉建屋カバー設備のダストサンプラ(F)測定系異常の警報発生について】 当社運転員が、ダストサンプラの監視用パソコンを確認時、「ダストサンプラ(F)測定系異常」の警報が発生。 確認したところ、ダストサンプラ(F)の監視用パソコン上でβ係数率指示値の一部が低下していること、および、検出器の印加電圧値が通常より低いことを確認。 ダストサンプラは4系統で監視しており、当該ダストサンプラ以外の指示値に有意な変動がないことを確認していることから、監視機能に影響なし。 今後、当該ダストサンプラ(F)の電源装置の修理を実施予定。</p>	G III	6月29日
3	<p>【既設多核種除去設備(A)のバッチ処理タンク(1A)pH計サンプル流量低の警報発生について】 当社運転員が、既設多核種除去設備(A)運転中に、「バッチ処理タンク(1A)pH計サンプル流量低」の警報発生を確認。 現場にてバッチ処理タンク(1A)を確認したところ、現場盤の流量と監視室の流量に相違があることを確認したため、流量が確認できないと判断し、運転を停止した。 既設多核種除去設備のバッチ処理については、バッチ処理タンク(2A)が運転していることから、系統の運用に影響なし。 今後、当該バッチ処理タンク(1A)流量計の修理を実施予定。</p>	G III	7月2日